

第3回小児がん中央機関アドバイザリーボード  
2017年1月25日（水）13：00～17：00

# 小児がん中央機関 相談支援事業

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
医療連携・患者支援センター  
ソーシャルワーカー 鈴木 彩

## 小児がん中央機関 相談支援事業

- 小児がんに関する相談支援の向上に関する体制整備を行う
  - 小児がん相談員専門研修
  - 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会
- 小児がん患者・経験者の発達段階に応じた長期的な支援のあり方について検討する
  - 視察・調査

# 小児がん相談員研修について

2016年4月より、それまでのプログラム作成委員会を再編し、「小児がん相談員研修検討委員会」にて2回の会議を開催し、研修内容を検討した。

## 小児がん相談員研修検討委員メンバー

### <委員>

- 小俣智子（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科／小児がん経験者）
- 関由起子（埼玉大学教育学部学校保健学講座）
- 竹之内直子（神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室）
- 田村里子（一般社団法人WITH医療福祉実践研究所）

### <事務局>

- 高山智子（国立がん研究センター がん対策情報センター）
- 松本公一（国立成育医療研究センター）
- 柴田映子（国立成育医療研究センター）
- 佐藤杏（国立成育医療研究センター）
- 鈴木彩（国立成育医療研究センター）

# 小児がん相談員研修検討委員会の開催

第1回	2016年6月10日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成28年度小児がん相談員専門研修について</li><li>相談員専門研修に関する感想・意見</li><li>平成28年度小児がん拠点病院相談員継続研修について</li></ul>
第2回	2016年9月26日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成28年度小児がん相談員専門研修に関する感想・意見</li><li>平成28年度小児がん拠点病院相談員継続研修のプログラム内容について</li></ul>
第3回	2017年2月7日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成28年度小児がん拠点病院相談員継続研修について</li><li>平成29年度小児がん相談員専門研修について</li></ul>

# 平成28年度小児がん相談員専門研修

開催日：2016年8月12日（土）・13日（日）

場所：国立がん研究センター管理棟1階 特別会議室

参加人数：55名

## 【医療機関別】

小児がん拠点病院：10施設より17名

小児がんを診療している病院：30施設より38名

※関東甲信越ブロックは15施設より19名（拠点病院以外）

## 【職種別】

看護師：17名      ソーシャルワーカー：33名

心理士：3名      CLS/HPS：2名

# 2016年8月12日（土）小児がん相談員専門研修プログラム

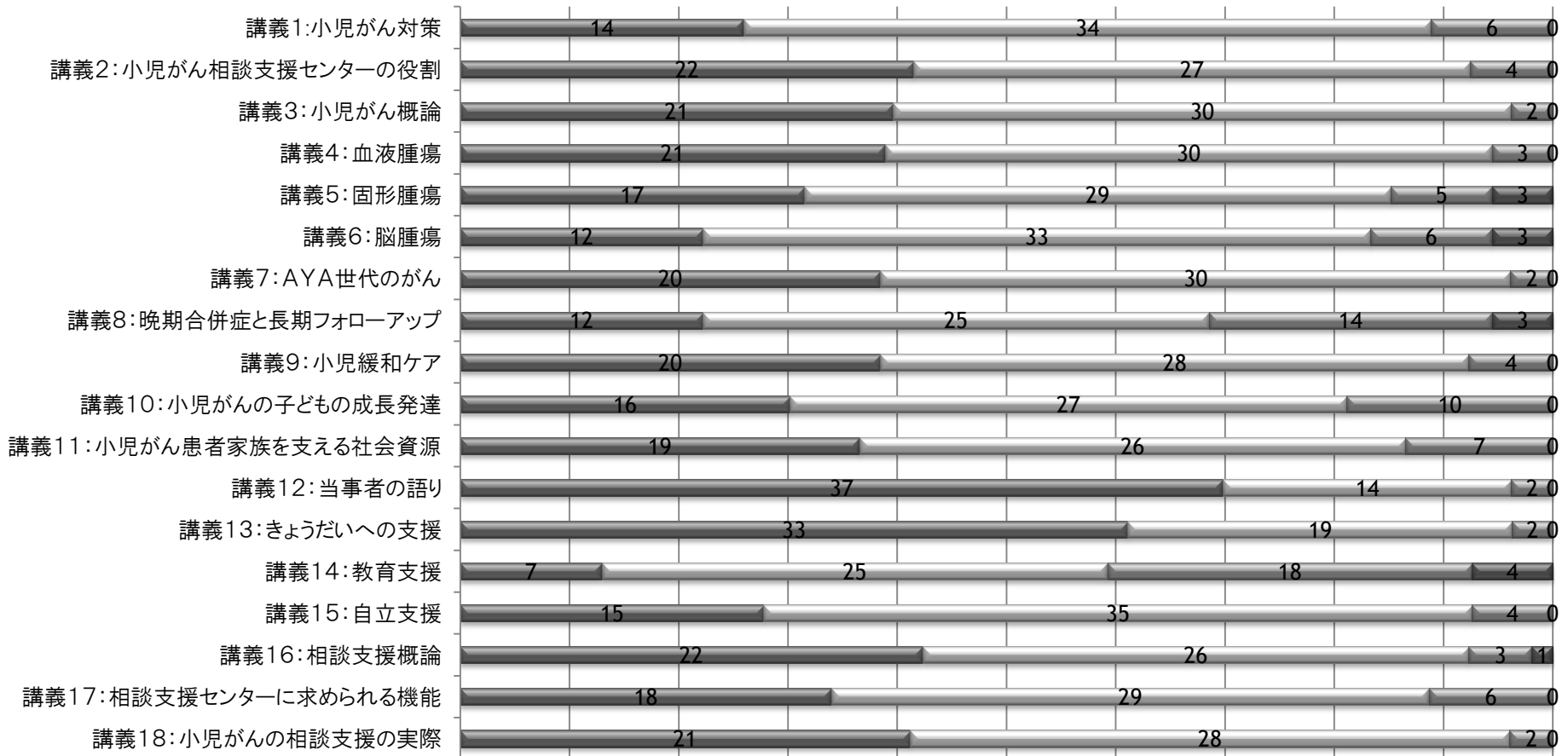
時間	プログラム	講師
10:00-10:20	講義1 「小児がん対策」	厚生労働省 健康局がん・疾病対策課
10:20-10:30	講義2 「小児がん相談支援センターの役割」	鈴木 彩 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター
10:30-11:30	講義3 「小児がん概論」	松本 公一 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
11:30-12:00	講義4 「血液腫瘍」	加藤 元博 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
12:00-13:00	休憩	
13:00-13:30	講義5 「固形腫瘍」	寺島 慶太 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
13:30-14:00	講義6 「脳腫瘍」	寺島 慶太 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
14:00-14:30	講義7 「AYA世代のがん」	加藤 元博 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
14:30-15:10	講義8 「晩期合併症と長期フォローアップ」	清谷 知賀子 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
15:10-15:20	休憩	
15:20-15:50	講義9 「小児緩和ケア」	塩田 曜子 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
15:50-16:30	講義10 「小児がんの子どもの成長発達」	田中 恭子 国立成育医療研究センター こころの診療部
16:30-17:00	講義11 「小児がん患者家族を支える社会資源」	佐藤 杏 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター

# 2016年8月13日（日）小児がん相談員専門研修プログラム

時間	プログラム	講師
9:00-10:00	講義12 「当事者の語り」	
10:00-10:30	講義13 「きょうだいへの支援」	伊藤 麻衣 国立成育医療研究センター 看護部
10:30-11:00	講義14 「教育支援」	新平鎮博 国立特別支援教育総合研究所 研究企画部 近藤 味規 東京都立光明特別支援学校、そよ風分教室
11:00-11:30	講義15 「自立支援」	小俣 智子 武蔵野大学 人間科学部社会福祉科
11:30-12:30	休憩	
12:30-13:30	講義16 「相談支援概論」	田村 里子 WITH医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部
13:30-14:00	講義17 「相談支援センターに求められる機能」	鈴木 彩 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター
14:00-15:00	講義18 「小児がんの相談支援の実際」	竹之内 直子 神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室
15:00-15:10	休憩	
15:10-17:10	演習 事例検討	

# 平成28年度 小児がん相談員専門研修(8月13日～14日開催) 講義別アンケート結果

■大変理解できた ■理解できた ■ふつう ■分からない





# 平成28年度 小児がん相談員専門研修アンケート結果

## ＜感想・希望＞

- 成人がん、支援にも結び付くものがたくさんありました。今後、ひとつひとつの講義が深まるような研修の継続をお願いしたいです。
- 小児がん全般を学ぶ機会はないので、この機会はとても有益でした。
- 就労に支援が必要と何度か出てきましたが、具体的な支援が出てきませんでした。取り入れて頂くと幸いです。
- タイムスケジュールが密に組まれていたので、もう少し余裕があればよかった。
- がん診療連携拠点病院では、成人だけではなく、小児も含め全体を対応しています。小児がん拠点病院だけが最善の環境というわけではないと思います。小児がん拠点病院とがん診療連携拠点病院の違いだけでなく、どうすると全体を担うがん診療連携拠点病院で小児がんの特性をいかした関わりができるかの視点を学びたい。また、基礎研修を終えた参加者であるので、共通してることは講義になくてもよいのでは、と思った。

# 平成28年度 小児がん相談員専門研修アンケート結果

- 陽子線治療を講義に加えるとよい。
- 休憩が少なく感じた。
- ポインターが一方のスライドにしか映らないのでポイントを探しづらかった。
- 基礎研修であり、9割以上講義であれば受講人数がもっと多くても良いのでは？
- 全体的に詰め込んでいる印象があり、せっかくの貴重なお話を講師の先生方が巻きで早口で講義されているのが残念でした。
- 資料が白黒でわかりにくいところがあった。
- 1日目の終了後、懇談会を開催して欲しい。つながりができるので。
- 相談を受けた時に利用できる資料提示と各講義におけるテーマをつけてもよいのではないかと思う。
- 終末期の子供と家族、きょうだいの関わりをテーマとしてほしい。
- MSWよりの知識や講義だったと思うので、小児がん相談支援センターの役割を考えるのであれば、看護職、心理職の内容も組み込んで欲しいと思った。
- 相談研修修了者を対象としたフォローアップ研修を開催して欲しい。

# 小児がん相談員専門研修 受講状況

ブロック	小児がん相談員専門研修受講人数			
	拠点病院	受講人数	年間相談件数	拠点以外
北海道	北海道大学病院	2	177	1
東北	東北大学病院	5	1567	2
関東甲信越	埼玉県立小児医療センター	6	709	19
	国立成育医療研究センター	5	512	
	東京都立小児総合医療センター	3	1090	
	神奈川県立こども医療センター	6	437	
中部	名古屋大学医学部附属病院	4	573	4
	三重大学医学部附属病院	2	403	
近畿	京都大学医学部附属病院	1	1269	4
	京都府立医科大学付属病院	1	134	
	大阪府立母子保健総合医療センター	2	108	
	大阪市立総合医療センター	7	387	
	兵庫県立こども病院	4	265	
中国・四国	広島大学病院	5	87	2
九州・沖縄	九州大学病院	4	562	6
受講人数合計		57	-	38 <sup>10</sup>

# 平成28年度小児がん拠点病院相談員継続研修

開催日：2016年12月18日（日）

場所：品川インターシティ貸会議室

参加人数：15拠点病院より33名

（平成27年・28年の相談員専門研修受講者は57名）

## 【職種別】

看護師 15名

ソーシャルワーカー 14名

CLS 3名

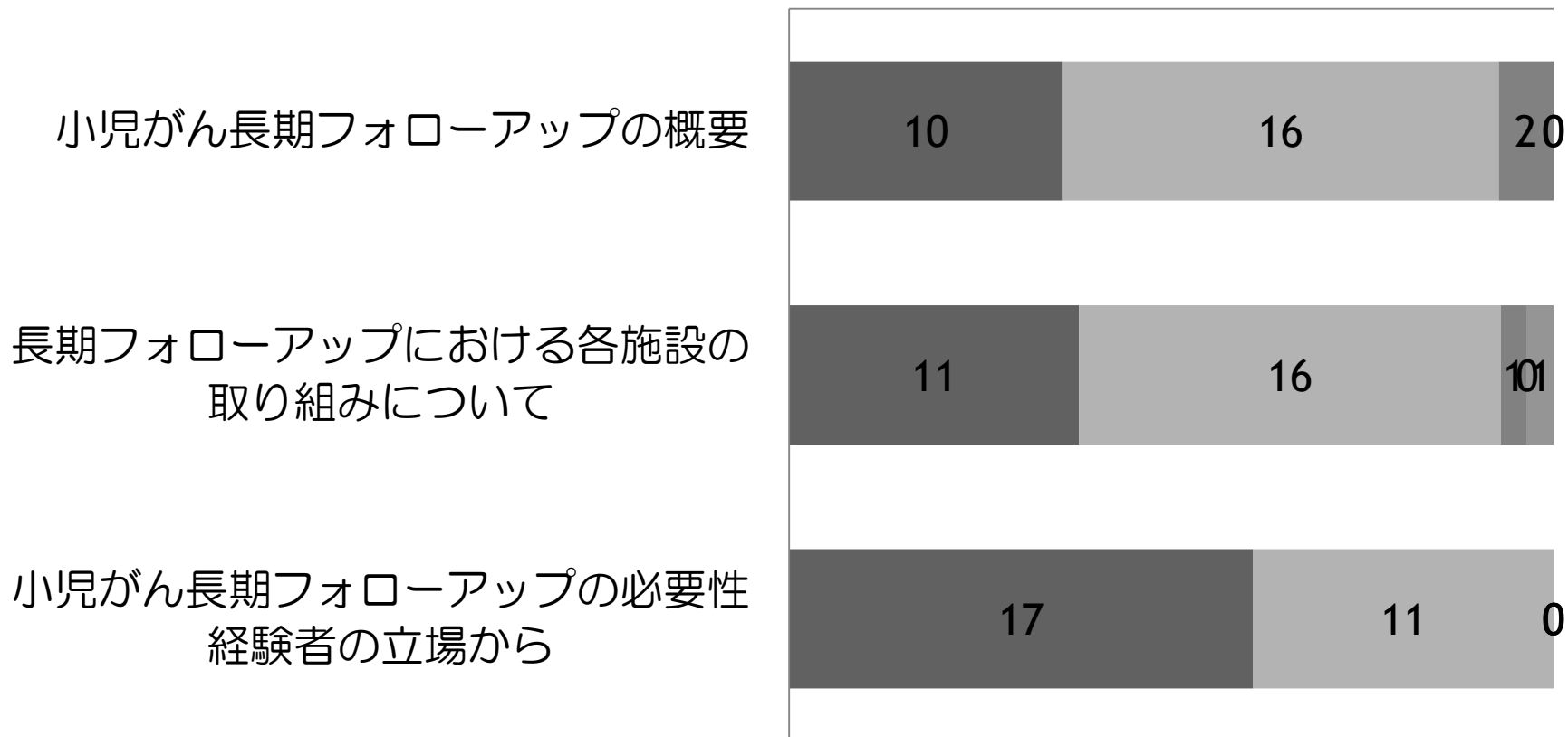
臨床心理士 1名

# 2016年12月18日（日）小児がん拠点病院相談員継続研修 プログラム

時間	プログラム	講師
10:00-10:20	講義1 小児がん長期フォローアップの概要	松本 公一 国立成育医療研究センター 小児がんセンター
10:20-10:40	報告 小児がん長期フォローアップ研修について	柴田 映子 国立成育医療研究センター 看護部
10:40-11:50	講義2 長期フォローアップにおける各施設の 取り組みについて	柴田 映子 国立成育医療研究センター 看護部 吉田 雅子 順天堂医院 医療福祉相談室 高下 裕子 京都大学医学部附属病院 がん相談支援センター 竹之内 直子 神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室
11:50-12:50	昼休憩	
12:50-14:30	講義3 小児がん長期フォローアップの必要性 ～経験者の立場から～	小児がん経験者 小俣 智子、松本 公一
14:30-14:40	休憩	
14:40-16:10	グループワーク・発表	

# 平成28年度小児がん拠点病院相談員継続研修 講義別アンケート結果

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 大変理解できた ■ 理解できた ■ 普通 ■ 分からない ■ 全く分からない

# 平成28年度小児がん拠点病院相談員継続研修 アンケート結果

## 感想・意見

- 研修開催の通知は数カ月前に頂けたらと思っています。
- 経験者の方とのグループワークで学んだ事がたくさんあり非常に有意義な研修でした。
- このような研修を企画してくださってありがとうございます。とても興味深いので来年度も楽しみにしております。
- いつも同じ講師ではなく15拠点病院に順番に講師を依頼した方が各施設の取組み内容がわかってよいと思います。また、その方が各施設の相談員の意識向上にもつながると思います。ご検討よろしくお願いします。
- 学会には2日間（金、土）は参加しました。連続しての出張は逆に公私ともに難しいので別の日程を希望します。
- 経験者の方の話をうかがいとても勉強になりました。
- 相談員はMSW NS の両職種が必要だと取組の発表を聞いて思いました。
- アクセスしやすい会場ですごく助かりました。継続して学習していく必要性を感じます。研修企画ありがとうございました。
- 今回も経験者の方のお話ご意見が聴けてとても学びになりました。小児がん相談について考える機会となりました。一つでも改善していけるよう努力していきます。このような研修を今後も継続していただきたいです。
- 初回研修は修了証がありました。今回はなしとのこと。何か認定や資格などはあるのですか？
- 経験者の方（院内で担当している患者さん以外）のお話を聞いたことが本当に貴重でした。

## 平成28年度小児がん拠点病院相談員継続研修 アンケート結果

- 当院では小児がんの患者にはSWは全員介入することになっているものの、社会資源のインフォメーションが中心である。しかし、入院中はDr、NS、専門相談員（NS）、心理士、リハスタッフが入介入する中で多くの人がかかわっている為、どこまでSWが入介入すべきか迷う場面がある。併せて限られたマンパワーの中で長期フォローアップをどうしていくか課題である。
- 12/17(土)学会・守る会シンポジウム参加しました。自分の力の無さを日々実感しています。研修によって少しでも自分自身が向上出来るようつとめていきたいです。中身の濃い研修をありがとうございました。
- 内容が充実した（知識のふりかえりや習得になりました。）研修を組んでいただきありがとうございました。講義を受けながら日々の業務の振り返りをする機会にもなりました。
- 大変勉強になりました。このような機会をいただきありがとうございました。
- 成育の先生方、SW NS の皆さまいつもありがとうございます。司会・進行・まとめなど、いつも鈴木さんは素晴らしいです。
- 経験者の皆さまありがとうございました。勉強になりました。準備していただきました成育医療センターの皆さまありがとうございました。
- 当院も他施設のように多職種スタッフが参加できたらと思います。
- 学会後は少し疲れますが、一度に終わるので助かる。



# 小児がん拠点病院連絡協議会

小児がん中央機関

国立がん研究センター  
国立成育医療研究センター

小児がん拠点病院  
連絡協議会

- 連絡協議会 年2回
- 相談支援部会 年2回

北海道

東北

関東甲信越

中部

近畿

中四国

九州・沖縄

ブロック  
協議会

ブロック  
協議会

ブロック  
協議会

ブロック  
協議会

ブロック  
協議会

ブロック  
協議会

ブロック  
協議会

各都道府県協議会

# 小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会の開催

## 第4回小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会

日時：2016年7月1日（水）13：30～16：30

場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ A-2・A-3

参加人数：16施設（14拠点＋2中央機関）30名

議事内容：

1. 小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会設置要領について
2. 各ブロックにおける相談支援部会設置状況について
3. 望ましいピアサポートの在り方について（グループ討議）

4. 各職種における相談支援について

- ・「相談件数のカウント方法」に関するこれまでの議論と検討過程について

国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供部 部長 高山智子

- ・グループ討議

5. 中央機関からの連絡

- ・小児がん相談支援センターパンフレット（案）について
- ・平成28年度小児がん相談員専門研修の開催について

➤ 第5回小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会  
2017年3月3日（金）に開催予定

# 各ブロックにおける相談支援部会開催状況

ブロック	開催状況
北海道	開催準備中
東北	2016年11月に第1回目を開催
関東甲信越	2016年11月に第3回を開催
中部	開催準備中
近畿	2017年2月に第1回目を開催予定
中国・四国	2016年6月に第1回目を開催
九州・沖縄	2016年11月に第1回目開催

# 視察

平成28年度に視察した施設

2016年8月	北海道大学病院 東北大学病院 京都府立医科大学病院 京都大学医学部附属病院
2016年9月	東京都立小児総合医療センター

➤小児がん拠点病院の実情の把握

➤小児がんに関連する新しい取り組みを行っている施設を視察し、患者家族への支援のあり方を検討

# 相談支援センターの啓発

- 各医療機関において、相談支援センターが知られていないことは昨年度から課題として挙げられていた。
- 小児がん拠点病院の他、小児がんの診断を受ける可能性のある病院に置いてもらえるパンフレットを作成する。
- 相談支援部会でも他の相談員より意見を聴取済み。
- 当センターにて開設予定の「小児がんホットライン」も掲載する。

## <パンフレット掲載内容>

- 小児がんについて（疾患内訳、治療方法、晩期合併症について）
- 各小児がん拠点病院相談支援センターの連絡先
- このような時にご相談ください（相談できる内容がわかるように）
- 小児がん情報サービスの紹介
- 小児がんホットラインの紹介
- あなたの地域の相談支援センター

# 今後の相談支援事業スケジュール

2017 - 2018	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
相談員研修	研修検討委員会			研修検討委員会				9月2・3日 相談員専門研修	研修検討委員会		拠点病院相談員 継続研修	
相談支援部会						第6回 部会						第7回 部会
啓発活動 他	パンフレット 作成		ホットライン 開設	パンフレット 配布開始								